

経営学部

教育目標

現実立脚の経営学探求を基盤に企業経営の理論面を学ぶとともに実践面を重視し、国際化や地域の特質をふまえて情報化社会での経営問題などに対応できる実務的な問題解決能力のある人間を育成する。

到達目標

- (1) 社会人として必要な学力や教養とともに、経営学分野の基本的知識を身につけることによって、創造的で実践力のある人間を育成する。
- (2) 企業経営の諸問題に関心をもち、その解決に積極的に取り組む姿勢を身につけることによって、豊かな感性とたくましい行動力を涵養できる人間を育成する。
- (3) 経営にかかわる問題の解決に向けて、情報を収集・分析する能力を養い、的確な判断を行い、適切に表現する能力を身につけることによって、企業経営で生起する諸問題に取り組む能力を高めることができる人間を育成する。
- (4) 社会的責任を自覚し、修得した経営的知見を活用して、社会の発展に貢献することによって、人間尊重、国際化、情報化の社会を支える人材を輩出する。

カリキュラムの特徴

経営学部では、経営コース、会計コース、情報経営コースの3コース制を導入しています。経営コースでは経営とは何かという経営に関する理論を学ぶとともに、人事や管理などの企業経営の実務的な知識なども学びます。また、現代ではいわゆる国際化の時代であるともいわれていますので国際的な視点からも企業経営について勉強します。会計コースでは将来、職業会計人になるために必要な会計に関する理論的な勉強をするとともに、企業の会計を実際に処理するのに必要な実務的な処理能力を養成します。情報経営コースでは現在の社会生活に必要な不可欠となったコンピュータに関する勉強をするとともに、情報自体が経営資源の一つであるといわれていることをふまえて、情報と経営との関わり、あるいは情報を媒介としてビジネス展開などを勉強します。